



新幹線駅開業に向けた 市の行動計画を策定します

北陸新幹線飯山駅開業まであと5年あまり。市内でも開業に向けた工事が進んでおり、市では新幹線の効果を最大限に生かすことができるよう、駅機能や土地利用、まちづくり等についてのアクションプラン（行動計画）を策定します。今月と来月2回にわたり、このアクションプラン案の内容をお伝えします。

新幹線プロジェクトの骨格

新幹線とは何か

- ① 12両編成（乗客約1000人）で、首都圏より2時間、北陸方面を1時間で結ぶ高速鉄道。
- ② 長期にわたり大量・高速旅客輸送効果をもたらす。市・周辺地域社会に構造的変化をもたらす影響力を持つ。

飯山駅の位置づけ

- ① 上信越高原国立公園の広大な大自然地域の玄関口。
- ② 素晴らしい景観・四季・水・空気や、未利用の土地、農産物等の多彩な資源に恵まれる。
- ③ 首都圏より最短で大自然に到達できる駅。

新幹線による効果

1. **観光人口の増**…飯山駅を中心に、大自然を生かした魅力的な広域観光圏を形成し、回遊性のあるまちづくりを進め、国内外からの観光人口を増やす。
2. **企業立地による人口増**…新幹線効果により、駅周辺および市内への企業誘致を進め、若者の定住人口を増やす。
3. **Iターン・Uターン、交流による人口増**…首都圏から最短で大自然に入れる地域として、首都圏住民へ新たなライフスタイルの場を提案・提供する。I・Uターン、二地域居住の場として定住・交流人口の増加を図る。

具体的な整備方針

- ① 新幹線駅機能の充実
- ② 駅周辺土地利用・新産業立地
- ③ 観光推進戦略

「具体的な整備方針」については次ページをご覧ください

討し、昨年11月にアクションプランの案ができました。

現在、この案を近隣の関係市町村、新幹線工事を担当する鉄道・運輸機構、その他関係機関に説明し、意見・要望等の集約を行っており、今年春ごろまでに、正式なアクションプランとして策定する予定です。